

港区デジタルアーカイブ教育活用コンテスト 応募作品

地域社会の担い手を育てる実践



【活用した資料について】

①品川駅の変遷



約100年前



約60年前



現在(2021)

②学校の推移

<https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/viewer/mp100300-100300/M22-H30/index.html>

③高輪築堤の様子



令和4年3月2日撮影。



その他の資料については指導案に適宜掲載いたしました。

本実践のウリ

- ・導入として地域のターミナルでもある品川駅の変遷を取り上げる。昔の様子との違いを見つけることで時間軸を意識させるだけでなく、学習に関心をもたせるようにする。
- ・主権者教育の基礎を養う「地域社会の担い手を育てる実践」として、まとめの後に未来の港区について考える時間を設ける。その際に、これからの港区の発展を考えるために、現在進行形で建設されている高輪ゲートウェイ駅周辺の開発を教材として取り上げる。

1 単元名 わたしたちの区のうつりかわり (15時間)

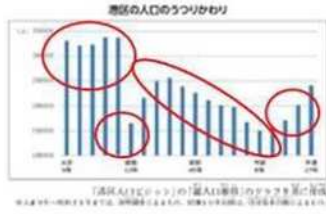
2 小単元の目標

港区の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで区や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて、グラフや地図などの資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、区や人々の生活の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見だし、区や人々の生活の様子について考え表現している。 ②駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり、区の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、区の人々の様子の変化を考え、適切に表現している	①区の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

6 小単元の指導計画(全15時間)

	ねらい	○主な学習活動・予想される児童の反応	◇資料□留意点☆評価規準
つかむ	①港区の昔や今の様子を地図や写真で比較して、移り変わりについて関心をもち、学習問題を作る。	○港区の地図を見て1学期に学習したこと、社会科見学で学んだことを想起する。 ・六本木ヒルズや増上寺があります。 ・大きな道路や立体交差している高速道路があります。 ○資料から過去から現在に至るまでに品川駅が大きく変わっていることに気付く。 ・海の横を車が走っています。 ・よく見ると品川駅と書いてあります。 ・エスカレーターや大きなビルがありません。 ・切符売り場が入り口のところにあります。 ○学習問題をたてる	◇港区地図 ◇品川駅の写真 海岸線を電車が走っている(1911年)→舗装される東口(1961年)→現在(2021年) □港区の施設の中で品川駅を取り上げていることに触れる。 ☆イ—①
昔から今までわたしたちの港区はどのように変わってきたのだろう			
	②昔から今まで港区のどのようなことが変わってきたのかを予想し、学習計画をたてる。	○学習問題についての予想をする。 ・ビルが増えたり、大きくなったりしています。 ・電車の数が増えた。また無人の電車などの種類も増えたと思います。 ・学校でiPadやプロジェクターを使うようになりました。 人々の暮らしが大きく変わっている。 ・子供の数も増えただろうから学校の数が増えた。新しい学校もできている。	□学習問題の予想は児童からの発言を板書で整理することで5つのキーワードにまとめる。 □前時学習した品川駅のうつりかわりを振り返る ☆ウ—①
し	③港区の人口の推移を読み取り、様々な要因で人口が減ったり増えたりしてきたことを理解する。	○資料から港区の人口が増減しており、最近は、増えてきていることを知る。 ・港区の人口は、1940年ごろまで30万人もいたのに1947年には16万人ぐらいにまで減っています。 ・1960年ごろまでは増え始め25万人ぐらいつりまで戻りました。 ・1960年ごろからは減り始めていましたが最近増え始めているようです。 ○どうして人口が増えたり減ったりしてきたのか考える。 ・昔は住みやすいまちだったのにほかのまちのほうが住みやすくなったのかな ・戦争などでまちが焼けてしまったのかな。 ・大きなマンションが建って住むところが増えたからかな。 ○資料から港区の人口の推移の理由を知る。	◇人口の推移のグラフ □資料を見ながらどこを見て考えたのか資料にチェックを入れるように声を掛ける。 

☆港区人口ビジョンより

- ・第二次世界大戦の影響で1946年ごろに急激に人口を減らした。
- ・戦争からの復興で1960年ごろまでは人口が増えた。
- ・1960年ごろから1996年ごろまでは土地の値段が上がり港区から離れる人が増えた。
- ・1996年ごろからは、港区が中心となって区民住宅を建てたり、今まで区の施設だったところを住宅（マンションなど）にしたりすることで人口が増えてきている。

○学習のふり返し

- ・港区の人口は増えたり減ったりしていることがわかった。人口が変わることで建物が増えたのかな。
- ・何歳ぐらいの人が多く住んでいるのか知りたい。
- ・これからどのぐらい人口が増えてくるのか知りたい。

☆イー②

④生活の道具について調べ、道具の変化と共に人々の生活が変わってきていることを理解する。

- 資料からくらしの道具のうつりかわりについて調べる。
- ・昔は洗濯機がなく、手で洗っていたものが今ではボタン一つで洗ってくれるだけではなく乾燥もしてくれる。
 - ・昔は電気を使わないような道具が多かった。電気があまりなかったのかも。
- 調べたことを年表にまとめる。
- 年表を見て、わかったことや考えたことを話し合う。
- ・同じ役割をする道具を比べると昔と今の違いがわかる。
 - ・くらしの中の道具は、人々の知恵と努力によって工夫され使われており、くらしが便利になってきた。

◇郷土資料館資料
◇道具の変遷表

□年表の作り方を学ぶ。

昔から今まで、くらしをよりよくしようとする人々の願いによって道具はさまざまに工夫され使われてきた。道具のうつりかわりによって、人々の生活は便利になった。

○学習の振り返り

- ・昔と今とでは生活の道具が変わっていて、今のほうがとても便利のように感じる。
- ・昔よりも家事にかかる時間が短くなったことがわかった。



☆イー②

⑤地図や写真などの資料を比較して調べ、港区の土地の使われ方が変わってきたことを理解する。

- 東京ミッドタウンが建っている土地が昔はどのように使われていたのか調べる。
- ・昔は陸軍という軍隊の基地だった。
 - ・広い土地だったのかな。
- 資料から100年前と60年前と最近の土地利用図を比べて変わったことを見つける。
- どうして土地の使われ方が変わったのか考え、話し合う。

◇近衛歩兵第一連隊駐屯地
↓
ミッドタウン
◇1970年ごろの土地利用図
↓
現在の土地利用図

昔と今では、土地の使われ方が大きく変わった。特に、工場が減り、住宅や事務所が増えた。また、国などの施設だったところが今はみんなのための場所になった場所もある。

	<p>○学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の港区は住宅や会社が多いまちだとわかった。 ・大使館が多いのはどうしてだろうか。 	☆イー②
<p>⑥地図や写真などの資料を比較して調べ、港区の鉄道が変わってきたことを理解する。</p>	<p>○写真から路面電車の写真から品川駅前にも路面電車が走っていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路に電車が走っています。今はありません。 ・「さよなら都電」と書いてあります。この日で終わりだったのかな。 ・今は都電の跡は、どのようになっているのかな。見たことないな。 <p>○鉄道年表と鉄道路線図から港区の鉄道がどのように変わってきたのか調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は都電と呼ばれた路面電車が走っていたけど、車の数が増えて、交通渋滞が増えてきたから無くなりました。 ・都電の代わりに地下鉄がたくさん作られました。地下鉄は地下にあるから道路の交通渋滞が減るよね。 ・最近、虎ノ門ヒルズ駅という駅ができた。 <p>○昔と今とで港区の鉄道が変わることで人々の生活にどのような影響があったのか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄が広がることで生活が便利になってきた。 ・住みやすいまちになってきたのだと思う。 	 <p>◇品川駅前を走る路面電車 ◇鉄道や道路できごと年表 ◇鉄道路線図</p>
<p>港区の鉄道は大きく変わってきた。特に汽車が走っていた時代の次に、都電が走ることになり、そして地下鉄がたくさん走るようになった。電車の変化には自動車の発展も大きく関係している。</p>		
	<p>○学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも鉄道は増えていくとうれしいな。 ・鉄道だけでなく道路の変化も調べてみたい。 	☆イー②
<p>⑦地図や写真などの資料を比較して調べ、港区の公共施設の数の推移について調べる。</p>	<p>○パンフレットから芝浜小学校が開校することを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タワーマンションが増えたから学校が新しく増えた。 ・電車が增えたことで生活が便利になって港区に住む人が増えた。 <p>○資料から学校数が減ってきたことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>○どうして学校が減ってきたのか考え話し合う</p>	<p>◇芝浜小学校パンフレット</p>  <p>◇学校数の推移年表</p>
<p style="text-align: center;">港区役所の人のお話</p> <p>港区の小学校は統廃合を繰り返してきました。児童数が減ってきたためです。しかし、近年、港南芝浦地区の人口が急に増えたので〇〇年ぶりに新しい学校をつくることになりました。ぜひ新しい芝浦小学校を同じ港区の学校として港南小学校の皆さんも応援してください。</p>		

	<p>○学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・140年以上前にできた学校も統廃合によってなくなってしまっていたことを知りました。 ・港南芝浦地区の人口は新しい学校が必要なぐらい増えていることを知りました。 ・公共施設は学校だけでないと思う。ほかに図書館や児童館がどうなってきたのか知りたい。 	☆イー②
<p>⑧</p> <p>人口 土地利用 交通 公共施設</p> <p>4つの視点の中から自分がもっと調べてみたいことを選び、調べまとめる。</p>	<p>○今までの学習を振り返って自分をもっと調べてみたいと思う項目を明らかにする。</p> <p>人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別人口の推移について ・これからの人口の推移について <p>土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港区には大使館がどうして多いのか ・埋立地はどうしてできたのか <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路は鉄道のように広がったのか ・これから新しい駅はできるのか <p>公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校以外の施設（例えば図書館など）は、どのように変わってきたのだろうか <p>○資料を使って調べる。</p> <p>○調べてわかったことをノートにまとめる。</p>	<p>□毎時間の振り返りで出たもっと調べたいことを、はてなカードとして掲示しておくことで、「もっと調べたい!」という意欲が持ちづらい子供の対する支援とする</p> <p>◇港区立郷土館常設展示図録 ◇港南小周年記念誌</p> <p>☆イー②</p>
まとめる	<p>⑨⑩自分が調べたことを友達と共有しながらまとめる</p> <p>○調べてわかったことを友達同士で伝え合う。</p> <p>○「港区のうつりかわり年表」を作成する。</p> <p>○出来上がった年表を見て、時期ごとの変化についてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルやマンション、ビルなど人が集まる場所が増えた。 ・電車やバスなどの交通手段が増えた。 ・港区にある小学校が18校になった。 ・古い道具から新しい道具に移り変わってきた。 	<p>◇港区のうつりかわり年表</p> <p>□授業で学んだことだけでなく自分で調べてわかったことも書き足すように促す。</p> <p>☆イー①</p>
ひろげる	<p>⑪これからの港区のために区役所の人たちがどのように考えているか知る。</p> <p>港区の人たちはわたしたちの港区をどのようにしようと考えているのだろうか。</p> <p>○これからの港区はどんな区になってほしいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが住みやすい便利なまちであってほしい。 ・外国人も仲良くしていけるまちであってほしい。 <p>○「うるおいある国際都市～歴史と未来が融合する魅力と活力あふれる清々しいまち～」という都市計画をしてい</p>	<p>◇人口推移のグラフ+未来の人口推移予測グラフ</p> <p>◇港区役所で働く人の話</p> <p>☆イー①</p>

	<p>ることを知る。</p>	
<p>・港区の人たちは外国人と仲良くしたり、お年寄りも過ごしやすくしたりするためのまちづくりをしている。 ・働いている場所と住んでいる場所が近いことからどちらも気持ちよくできるようにしている。</p>		
<p>⑫ 高輪ゲートウェイ駅周辺がどうして再開発されているのか調べる。</p>	<p>○港区の都市計画の中で高輪ゲートウェイ駅という新しい駅が品川駅の隣にできたことを知る。 ○JRの樋口さんの話から高輪ゲートウェイ駅周辺が大きく再開発されていることを調べる。 ・もともと車両基地があったところに駅を作った。 ・外国人にも知ってほしいという願いから「ゲートウェイ」という名前がついた。 ・大きなビルが作られるそうです。住む人もいれば、働く人もいるビルだそうです。 ・品川駅まで歩いていける歩道ができるそうです。リニアモーターカーの駅ができることも関係するのかな。</p>	<p>◇高輪ゲートウェイ駅写真 ◇高輪ゲートウェイ周辺整備計画 ◇JRの樋口さんの話 ☆アー①</p>
<p>⑬ 高輪ゲートウェイ駅周辺の開発で築堤が発掘され、これから保存されることを知る。</p>	<p>○資料から過去の鉄道の跡である築堤が工事の中で発掘されたことを知る。 ○築堤を残すことでのよいところと悪いところを資料から調べ、自分の考えをまとめる。 ・築堤があるとそこに建物が建てられないからまちは大きくなる。 ・新しいものを作るためには昔のものはまた埋めてしまったほうがよい。 ・高輪地区の人たちは歴史を大切にしようとしている。 ・111年前のものがせっかくでてきたのだから、これからの港区の人たちに伝えたい。</p>	<p>◇ニュース動画 ◇高輪地区町会の方の話 ◇築堤の写真 ☆ウー①</p>
<p>⑭⑮ 自分なら港区をどのようなまちづくりをしていきたいか考える。</p>	<p>○自分が港区のまちづくりとして高輪ゲートウェイ駅周辺を開発するとしたらどのようなまちにしたいか考え表現する。 ・老若男女、外国人も含めてみんなが仲良くなれるようにプラリバのような公共施設をたくさんつくりたいです。 ・たくさんの方が働きやすく、住みやすいまちにするためにマンションを建てたり、職場になる大きなビルを建てたりしたいです。 ・世界に港区のことを紹介できるようなシンボルを作りたいです。 ○自分が考えるまちをワークシートに書いて友達と交流する。</p>	<p>□築堤は形を変えて残す方向になったことを伝える。 ※真ん中に高輪ゲートウェイ駅でその周辺が空白のワークシートのイメージです。床地図のようにして大きな模造紙に話し合いながら建物等を置いてくのも一つの案です。 ☆ウー①？</p>